

第 32 回 THE I CUP (ジアイ・カップ) 帆走指示書 (SI)

場 所 兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)
〒659-0032 兵庫県芦屋市浜風町 30-2
[TEL:0797-32-2255](tel:0797-32-2255)
URL : <http://ashiyamarine.sakura.ne.jp/top.html>

期 日 令和 5 年 5 月 20 日 (土) ~21 日 (日)

主 催 日本レーザークラス協会、レーザー芦屋フリート

協 力 奈良県セーリング連盟、レーザー芦屋フリート、日本ホビークラス協会芦屋フリート

1 規則

- 1.1 セーリング競技規則(2021-2024)に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P は適用しない。
- 1.3 【DP】は、その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。
- 1.4 【NP】は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

2 競技者への通告

- 2.1 競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に
掲示する。

LINE オープンチャットも併用するが、公式掲示板と LINE
オープンチャットとの間に矛盾がある場合、大会本部に設置された
公式掲示板を優先する。

LINE オープンチャットは右の QR コードをスキャンすることで
招待を受けられる。



オープンチャット「2023 ジアイカップ (選手用) 」

https://line.me/ti/g2/2zq13QzJkRkF38bc0TZFHL32cC8UNCgrVgQ9wg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

- 2.2 LINE オープンチャットは、公式掲示板にのみ使用する。レース参加者から意見・要望・提案等を投稿してはならない。レース参加者からの投稿があった場合でもレース委員会はこれに返答しない。
- 2.3 LINE オープンチャットは、5 月 18 日 (木) までパスワード管理してロックされており、参加できない。レース参加者は 5 月 19 日 (金) AM8:00 以降にオープンチャットへ参加すること。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発行する当日のスタート予告信号 60 分前までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 18:00 までに掲示する。

4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)更衣室前のポールに掲揚する。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号「回答旗」の中の「1 分」を「60 分後以降」に置き換える。

5 出艇・帰着申告【NP】

- 5.1 出艇しようとする競技者は、「レース申告受付所」で出艇申告として、署名用紙に署名をしなければならない。
- 5.2 帰着した艇の艇長は、当該クラス種目のその日の最後のレース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分後までに帰着申告の署名用紙に署名しなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 5.3 リタイアしようとする艇および引き続き行われるレースに出走しない艇は、その意思を近くのレース委員会艇に伝え、すみやかにレース海面を離れなければならない。当該艇の艇長は、帰着後直ちに帰着申告を行わなければならない。

6 レース日程

- 6.1 レース日程とレース数
5月20日(土)～5月21日(日) 各クラス最大5レース実施する
- 6.2 各日の最初のレース予告信号予定時刻
5月20日(土) 10:55 最初のクラスの第1レース予告信号
(引き続きレースを行う。1日最大3レース実施する。)
5月21日(日) 10:25 その日最初のクラスの最初の予告信号
(引き続きレースを行う。1日最大3レース実施する。)
- 6.3 5月21日(日)は、14時より後に予告信号は発しない。
- 6.4 一つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響信号1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 6.5 ブリーフィング
5月20日(土)は9:30より、5月21日(日)は9:00より、指定場所(スローブ南側の護岸を予定)にてブリーフィングを行う。

7 クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

- ・レーザースタンダードクラス：白地に赤のレーザーマーク
- ・レーザーラジアルクラス：緑地に赤のレーザーマーク

8 レース・エリア

【添付図 A】に、レース・エリアの位置を示す。

9 コース

- 9.1 【添付図 B】の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前に、レース委員会の信号船に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10 マーク

- 10.1 マーク 1、2 P 及び 2S は黄色の三角錐ブイとする。
- 10.2 マーク H は、赤色球形ブイとする。
- 10.3 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会の信号艇とポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 10.4 フィニッシュ・マークはスターボードの端にあるレース委員会の信号艇と、ポートの端にあるピンク色の円錐形ブイとする
- 10.5 SI 12 に規定する新しいマークは、黄色の円筒形ブイとする

11 スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 11.2 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない【DP】。
- 11.3 スタート信号の 4 分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。この項は RRS 付則 A4 を変更している。
- 11.4 RRS 30.4 に規定されたレース委員会の掲示は、レース委員会信号艇のスターン掲示板上に掲示する。

12 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し、実行できれば、直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にある青色旗を掲揚しているポールとピンク色の円錐形ブイの間とする。

14 タイム・リミット

14.1 タイム・リミット及びフィニッシュ・ウインドは次のとおりとする。

| | タイム・リミット | マーク1のタイム・リミット | フィニッシュ・ウインド | ターゲット・タイム |
|------------------|----------|---------------|-------------|-----------|
| レーザ級 レーザラジアル級 | 60分 | 25分 | 15分 | 40分 |

14.2 マーク1（レーザ級・レーザラジアル級）のタイム・リミット内に1艇もマークを通過しなかった場合、レースを中止する。

14.3 RRS30.3 及び RRS30.4 に違反しないでスタートした先頭艇が、コースを帆走してフィニッシュから起算されるフィニッシュ・ウインド内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった（DNF）』と記録される。この項は RRS35、A4 及び A5 を変更している。

14.4 各クラスのターゲット・タイムどおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 62.1(a)を変更している。

15 抗議と救済要求

15.1 抗議書は、レース・オフィスで入手できる。抗議、および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。

15.2 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。

15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を掲示する。

15.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。

15.5 SI 11.2、17、18.2、18.3、19 及び 21 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、RRS 60.1(a)を変更している。

16 得点

16.1 本大会は 5 レースを予定し、最小 1 レースをもって成立する。

16.2 完了したレースが 3 レース以下の場合、艇のシリーズ得点はレース得点の合計とする。4 レース以上完了した場合は、艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。この項は

RRS 付則 A2.1 を変更している。

17 安全規定

- 17.1 出艇申告と帰着申告は、SI5 に従い申告しなければならない。
- 17.2 リタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 17.3 レース委員会は危険な状態にあると判断したレース艇に対し、リタイアの勧告及び強制的な救助を行うことができる。
- 17.4 艇は直径 6mm 以上長さ 5m 以上のパウラインを搭載し、その一端はパウアイに結び付けられていなければならない【DP】。
- 17.5 マストトップに脱着可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球体に限り、1カ所のロープでとり付けなければならない。コンディションにより取外しても良い【DP】。

18 乗員の交代と装備の交換

- 18.1 競技者の交代は、許可されない。
- 18.2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない【DP】。
- 18.3 交換の要請は、最初の妥当な機会に、レース委員会に行わなければならない【DP】。

19 装備と計測のチェック【DP】

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

20 支援艇【DP】

支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側（概ね 100m 以上離れること）にいないなければならない。

21 ごみの処分

RRS 55 に加え、ごみを支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

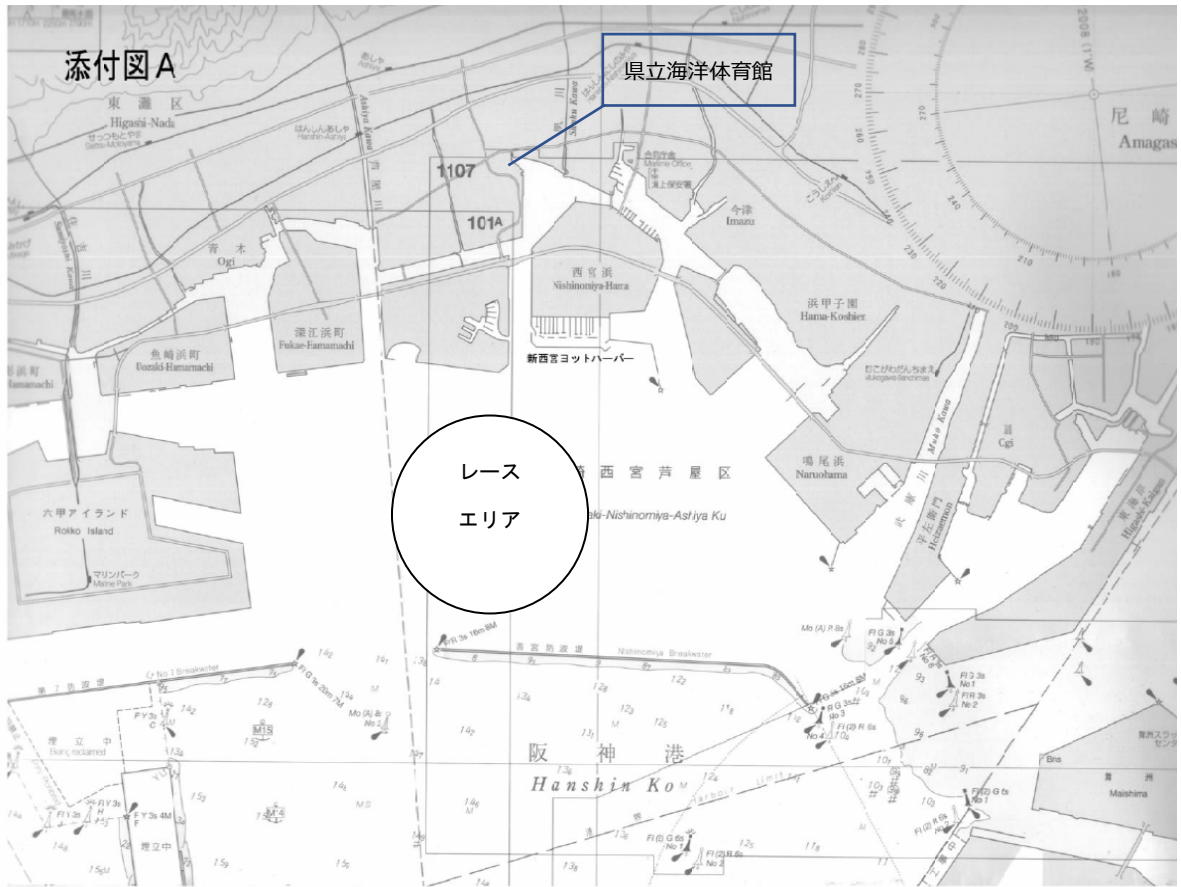
22 賞

各クラス成績上位者を表彰する。

23 責任の所在

競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 3『レースをすることの決定』参照。主催団体は、大会前後、期間中に生じた物理的損害または身体傷もしくは死亡によるいかなる責任も負担しない。

【添付図A】レース・エリア



【添付図 B】

